

# 物価高騰が医療・介護現場に追い打ち

## 島根民医連が県へ緊急要請

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、電気・ガス・水道料金、食材費等の急激な高騰が医療・介護現場の苦境に追い打ちをかけている問題で、島根県民主医療機関連合会（眞木高之会長）は18日、県に「コロナ禍で懸命に奮闘している医療機関、介護事業所の経営を守るため、国の通知（6月10日発出）に基づき、新型コロナウイルス感染症対応交付金による助成措置を講じてほしい」と要請しました。

松江生協病院医師（副院長）の眞木会長、平田保事務局長ら5氏が県庁を訪れ、日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議、舟木健治、橘ふみ両市議が同席しました。

眞木会長は、コロナの影響で減益の中、物価が3〜4割上昇していると述べ、「公定価格（診療報酬）で定められているため、値上げ分を転嫁できない」と訴え。医療生協の役員からは、病院・介護事業所でクラスターが

発生し、通常診療や介護事業を制限・縮小、休止せざるを得ず減収となっているもとで水光熱費が前年比で約130%、前々年比で約170%増えていると訴え、「全職員が」と答えました。

## 江の川治水「助かったと思える対応を」

### 党江津市議団が県要望

日本共産党江津市議団（多田伸治団長）は7月29日、江の川の治水対策で丸山達也県知事宛てに要望書を提出し、県土木部河川課長らと意見交換しました。（写真）

尾村利成、大国陽介の両県議が同席しました。

へのコロナ検査負担も増え、国や県にしっかり支援してほしい」と語りました。

県の担当者は「県としてできることを考えていきたい」と答えました。

多田市議は、「繰り返し返される水害で住民からは50年待たされているとの声が出ている。助かったと住民が感じられる対応をお願いしたい」と訴えました。

応対した県土木部河川課の中村壽浩課長は、集団移転先の県有地について「調べてみないとわからないが、市と調整させてもらう」と回答。門田修二調整監は、都治川の



- ### 第57回しんぶん赤旗 囲碁・将棋大会
- 邑智地区大会 9月11日（日）邑南町・井原公民館  
申し込み・問い合わせ 日本共産党西部地区委員会
  - 益田地区大会 9月18日（日）益田市立市民学習センター  
申し込み・問い合わせ 日本共産党西部地区委員会
  - 松江地区大会 9月25日（日）いきいきプラザ島根4階  
申し込み・問い合わせ 日本共産党東部地区委員会
  - 江津地区大会 10月2日（日）二宮地域コミュニティ交流センター  
申し込み・問い合わせ 日本共産党西部地区委員会
  - 出雲地区大会 10月23日（日）大津コミュニティセンター  
申し込み・問い合わせ 日本共産党中部地区委員会

## 3期目の闘い始まる

国会は本来議論の府です。改憲4党が多数を握ってもこの議席を奪に必ず動かす―3期目の闘いが始まりました。

与野党問わず旧知の議員から次々と声がかかり、党議員団の弾けるような大歓迎に「帰ってきた」と実感します。

初日から議運理事に復活。「会期わずか3日」と逃げ回る政府与党に、民主主義の根幹に関わる安倍元総理の「国葬」問題と旧統一協会・自民党政治の癒着究明、コロナ第7波爆発と物価高騰への無責任をただし、徹底審議要求をつきつけたのが初仕事になりました。

目を覆う癒着と恥ずべき言逃れ。内閣支持率

は急落し、岸田政権は一気に追い詰められています。「10日に前倒し」の内閣改造でごまかせぬ訳もありません。前川喜平元文科次官証言が激震をひろげた野党合同ヒアリングの復活は大切な一歩です。

そして、77年目の広島原爆の日（写真左）。



核禁条約締結国会議の大きな到達をふまえ、「この神聖な場所からニューヨークのNPT会議に訴える」というグテーレス国連事務総長演説は圧巻でした。原水禁世界大会での学生たちの凜冽とした姿に胸が熱くなりました。台湾をめぐる米中対立の激化は、包摂的な平和外交への転換こそ急務であることを教えています。

この8月、豪雨被災者の生活再建をはじめ、徹底した閉会中審査、各地と結ぶ政府交渉、沖縄県知事選はじめ選挙勝利に、態勢を整えつつ全力を尽くします。（8月8日記）

## 地域の話題

### 松江 コロナ第7波対策 市議団が要望

松江市議団は7月28日、松江市に「新型コロナウイルス第7波から市民を守る緊急要望」を提出しました。

市民から寄せられた「濃厚接触者が一度も検査せずに保育園や学校、職場に復帰するのは不安」「どこで感染拡大が起きているのか分からず不安」などの声を届け、市民への情報提供も検討すべきと指摘しました。

また、子どもたちの間でクラスターの発生が続き、部活動や夏休み明けの感染拡大に不安が寄せられているとして、学校再開前には各家庭に検査キット

## アムロム

を配布し、検査後登校することや家庭で購入した場合の補助などを求めました。（「新しい松江」より）

### 出雲 農業を守る支援策を 田食議員が要求

田食町議は、農業の全分野で生産費高騰のために経営存続が困難になっていることを指摘し、本町の農業を守るために緊急の支援策を求めました。

勝田町長は、水稻資材等の高騰対策は6月議会で補正予算として提案する、畜産の飼料高騰対策も県の支援策に加え、雲南1市2町で足並みをそろえて対応したいと答えました。が、他の分野については言及しませんでした。（「奥出

### 江津 コロナ対策強化を 市議団が申し入れ

党江津市議団は7月27日、新型コロナウイルス第7波から市民の生命と暮らしを守るための緊急要望書を藤田裕副市長へ手渡ししました。

党市議団は提出にあたって、ワクチン接種や医療体制の状況、市役所業務への影響、江の川祭の実施の可否などを確認。加えて、市内経済への影響について「11月に実施予定の『地域応援券第2弾』の拡充も大事だが、『お客が来ない』という店舗に対しては効果が限定される。家賃・水光熱費などの固定費への支援を」と対策を求めました。（「こうつ民報」より）

参院議員(弁護士)

# にひそうへい

西南の風

